

「2024 年度学生生活アンケート」結果——学修成果・成長実感について

■調査と分析方法■

学修成果・成長実感に係る設問は 20 問あります（下図参照）。  
各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の 4 択で回答してもらいました。  
分析では回答をポイント化し（「あてはまらない」=1, 「ややあてはまらない」=2, 「ややあてはまる」=3, 「あてはまる」=4），その平均を過去 4 年の値と比較しました。  
2024 年度は調査対象者数 570 名のうち回答が得られた 348 名（回答率 61.05%）の結果を分析しました。

■分析■

2024 年度卒業生の在学中の推移（1 年生時（青），2 年生時（赤），3 年生時（緑），4 年生時（紫））をみると（図 7），ほとんどの項目で年次が進むにつれてポイントが高くなっており，本学での 4 年間で様々な成長を実感して卒業した様子がうかがえます。とりわけ，パソコンの技能や専門知識，教養（設問 51～53）のポイントが 3.30 を超えています。学年別（図 8）および過去 4 年間の推移（図 9）をみても傾向は同様です。したがって，本学の学生はパソコンの技能や専門の知識に成長実感が強く，かつ年が高いほど成長を感じている学生が多いことがわかります（図 8）。  
一方，コミュニケーション能力（設問 49）や外国語能力，国際的視野，チーム能力，社会的活動への姿勢（設問 55～58）をめぐる成長実感は比較的，乏しい様子がうかがえます。

図 7 学修成果・成長実感（卒業生、在学中の推移）

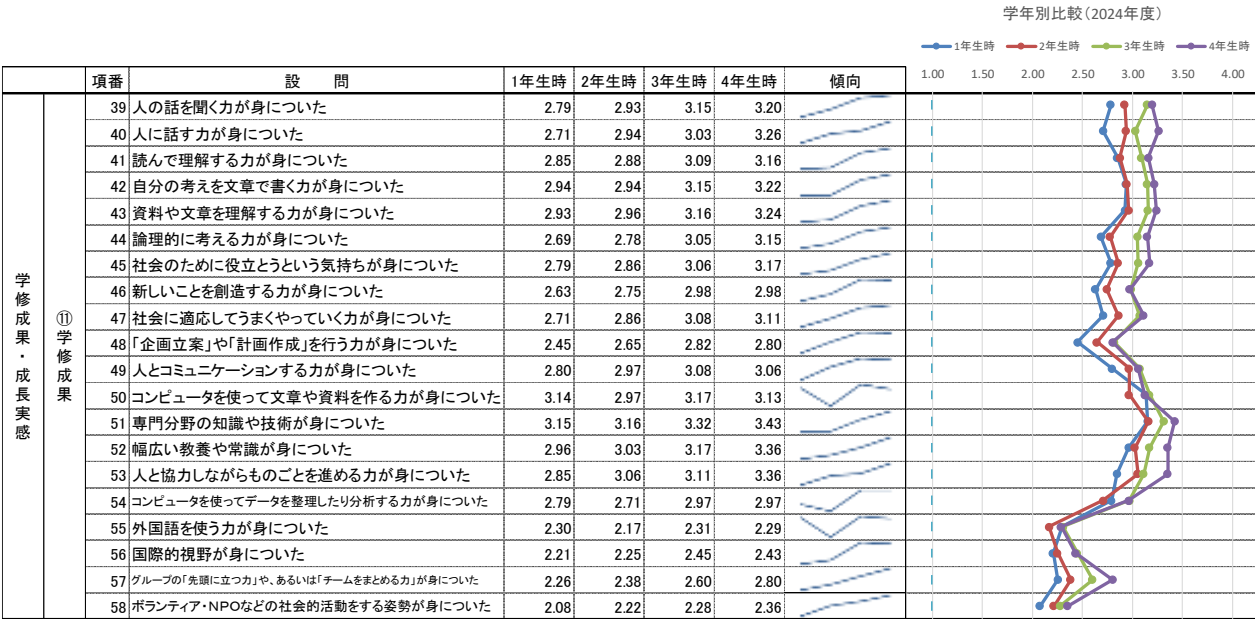


図 8 学修成果・成長実感（学年別）

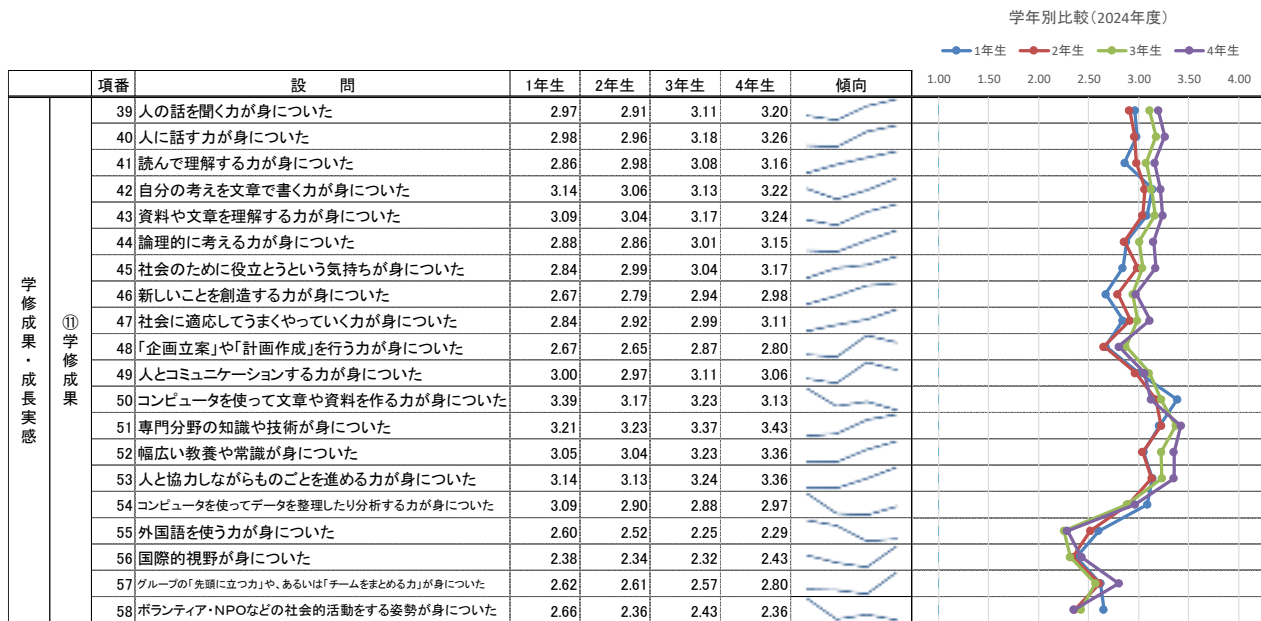


図 9 学修成果・成長実感の過去 4 年の推移（2021～2024 年度、回答者全体）

